

各 位

2014年2月17日
株式会社イオンファンタジー
代表取締役社長 片岡 尚
(コード番号 4343)
管理統括 広報・IR室長 菅原 裕之
(電話 043-212-6203)

2014年2月期1年度の営業概況

1. 業績の進捗

1月度(2014年1月1日～2014年1月31日)の国内単体の営業収益は43億98百万円、前期比83.3%(決算日変更の影響)となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

2. 月次売上高の前期比伸び率の状況(国内事業) (単位: %)

	1月度		当期累計(3月度～1月度)	
	全店	既存店	全店	既存店
遊戯機械売上	83.1	99.1	100.2	98.7
商品売上	83.8	90.9	114.3	111.5
遊戯施設売上計	83.3	97.2	103.4	101.7
売上高合計	83.3	97.3	103.5	101.7

※決算日変更にもとない1月度売上全店伸び率は前期の2012年12月21日～2013年1月20日と対比しております。既存店伸び率は前期の1月1日から1月31日と対比しております。なお、既存店伸び率は前期より正月休日が1日減少し平日金曜日が増加となります。その影響は6.2%の減少となり既存店伸び率の趨勢は103.5%となります。

3. 営業の概況

1月度の売上高は前年対比83.3%となりましたが、これは決算日の変更にもとない、昨年まで1月度に計上された12月の冬休み売上が12月度に計上された影響によるものです。遊戯機械売上はメダルグループ、プライズグループが好調に推移したことで34億22百万円(曜日調整後既存店売上伸び率105.5%)となり、粗利益も含め計画数値を確保いたしました。

また、商品売上は9億57百万円(曜日調整後既存店売上伸び率96.7%)と、一昨年11月にリリースされたカードゲーム「アイカツ」が一巡したことで前年を下回る趨勢となりましたが、遊戯機械部門の上振れにより1月度全体の業績は計画数値を確保いたしました。

4. 出退店の状況

今期(2013年3月1日～2014年1月31日)は8店舗が新たに開店し、2店舗が閉店しております。

※2014年1月度末国内店舗数: 322店舗

【参考情報: 海外子会社の既存店売上伸び率の状況】

(単位: %)

	3月度	4月度	5月度	6月度	7月度	8月度
中国	155.5	112.7	130.3	132.0	134.3	151.5
マレーシア	101.2	81.7	111.9	102.4	106.7	93.4
	9月度	10月度	11月度	12月度	1月度	2月度
中国	191.4	158.7	221.2	120.6	137.4	
マレーシア	99.9	97.2	92.3	90.6	108.1	
タイ	-	-	-	-	109.4	

以上